卵用鶏の能力に関する目標数値（全国平均）

	飼料要求率	鶏卵の生産能力			
		産卵率	卵重量	日産卵量	50%産卵日齢
現在	g／個 2.1　(130)	% 84	g 62	g 52	日 147
目標 (平成32年度)	2.0　(124)	86	61～63	52～54	145

注１：飼料要求率、産卵率、卵重量及び日産卵量は、それぞれの鶏群の50%産卵日齢に達した日から１年間における数値である。

注２：飼料要求率の（　）内は、１個（62ｇ）当たりの鶏卵を生産するために必要な飼料量（ｇ）の数値であり、参考値である。

ウ　その他の能力に関する改良事項

㈠　卵質

生産・流通段階での破卵の発生の低減を図るため、卵殻強度の改良を進めるとともに、消費者ニーズに応えた卵殻色、ハウユニット（注１）、肉斑・血斑等の改良を進めるものとする。

㈡　育成率・生存率（注２）

生産性の向上を図るため、疾病に対する遺伝的な強健性の付与、飼養・衛生管理の改善等により、育成率及び生存率の向上に努めるものとする。

注１：ハウユニット

鶏卵の鮮度を判定する指標として示されるもので、次の式により算出される。

$100\log(H-1.7W^{0.37}+7.6)$

Ｈは割った卵の卵白の高さ（㎜）、Ｗは卵重（ｇ）

注２：育成率・生存率

育成率は、え付け羽数に占める生存している雛の割合であり、生存率は、生後５ヶ月齢等の羽数に占める生存している鶏の割合。

②　肉用鶏

ア　飼料効率（飼料要求率）

長期的な飼料穀物の需給のひっ迫が予想されることから、引き続き飼料要求率の改善に努めるものとする。ただし、飼料要求率の改善に当たっては、増体の低下につながらないよう留意するものとする。

イ　生産能力（49日齢体重）

飼料要求率の改善とバランスを取りながら、増体に努めるものとする。

ウ　育成率

育成率については、飼養・衛生管理の改善と併せて、疾病に対する遺伝的な強健性の付与により、向上に努めるものとする。

肉用鶏の能力に関する目標数値（全国平均）

	飼料要求率	体重	育成率	出荷日齢
現在	2.0	g 2,700	% 97	50日
目標 (平成32年度)	1.9	2,800	98	49日

注１：飼料要求率は、雌雄の49日齢における平均体重及びえ付けから49日齢までの期間に消費した飼料量から算出したものである。

注２：体重は、雌雄の49日齢時の平均体重である。

注３：育成率は、49日齢時の育成率である。

注４：出荷日齢は、平均的な出荷体重（2,800ｇ）の到達日齢であり、参考値である。

エ　その他の能力に関する改良事項

㈠　コマーシャル雛（注）の効率的な供給を図るため、母系種鶏の繁殖能力の向上に努めるものとする。

㈡　腹腔内脂肪量の減少を図りながら、産肉性の向上に努めるものとする。

注：コマーシャル雛

鶏卵・鶏肉の生産のために、最も大きな雑種強勢効果を発揮するような種鶏を交配して生産した雛。

⑷　その他の能力向上に資する取組

①　改良手法

ア　国産鶏の系統造成に当たっては、流動的な消費者ニーズに応えるため、遺伝的多様性を保持した上で、実用レベルの迅速な供給が可能な育種規模を確保する。

イ　在来種等を利用した特色ある鶏の作出に当たっては、産卵性・産肉性等の生産性に配慮し、食味等のみならず経済性にも配慮した系統造成に努めるとともに、組合せ検定を行うものとする。

ウ　卵質・肉質等に関する統一的な評価手法の確立・利用を推進し、効率的な改良に資するものとする。

②　飼養・衛生管理

鶏の遺伝的能力を十分に発揮させ生産性を向上するためには、

ア　飼料設計の改善

イ　暑熱対策や良質な飼料・水の給与等鶏の快適性に配慮した飼養管理（アニマルウェルフェア）

ウ　ＨＡＣＣＰ方式導入等による衛生管理の徹底

等の取組が重要である。

なお、飼料用米の利用については、給与実証試験や実態調査等の生産から加工・販売までの主体的な取組に必要な情報の収集・提供を推進する。

これら飼養・衛生管理の適切な実施により、卵質・肉質等の向上に努めるものとする。

③　食味

肉の歯ごたえ、アミノ酸組成、脂肪酸組成等、おいしさ評価に関する科学的知見の蓄積に努め、将来的に消費者の視点に立った評価として利用可能な「おいしさ」に関する成分含有量の指標化の検討を進めるものとする。

なお、鶏もも肉の生産割合に着目した改良は困難であることから、低需要部位であるむね肉については、多様な調理法等消費拡大の取組に必要な情報の収集・提供を推進する。

２　増殖目標

鶏卵・鶏肉の需要動向に即した生産を行うことを旨として、飼養羽数の目標を次のとおり設定する。

卵用鶏：171百万羽（現在181百万羽）

肉用鶏：106百万羽（現在107百万羽）

また、多様化する消費者のニーズに応え、国は、特色ある鶏の増殖に向けた種鶏の羽数が十分に確保されるよう努めるものとする。

（参考）鶏をめぐる情勢

１　鶏をめぐる情勢

我が国の養鶏は、食生活の多様化・高度化に伴い、鶏卵・鶏肉に対する需要が堅調な伸びを示す中で、良質で安価なたんぱく質を供給するとともに、地域経済を支える重要な産業として発展してきた。